



ふじさん ほんもの 富士山の本物

2024/5/29

No.18

岩渕和信



富士山を^{たいかん}体感する3日間。

初日は、五合目のお中^{ちゅうどう}道^{たんけん}を探検しました。地衣類^{ちいるい}、
溶岩^{ようがん}、気流^{きりゅう}、囀^{さえす}り、雲^{くも}の中^{なか}・・・

「あれ？なに、この石^{いし}、かる〜い！」

「え、ちょっとかして。大きい^{おお}じゃん」

感じた^{かん}心^{こころ}から生まれた^う問いが、心^{こころ}を育て^{そだ}てます。

その夜^{よる}。それらの「問い」について、ネイチャークラブの
皆^{みな}さんと深^{ふか}めていきます。

「ちっちゃい^{みどり}緑^{むし}の虫が、いっぱいいたんですけど」

「待^まって、写真^{しゃしん}があるよ、えー、どれだ」

「あ、それぞれ！それです」

「これね。ハンノキハムシだ。ハンノキが大好きな虫なんです。これは珍^{めずら}しいよ。オスは
ちっちゃくてね、メスは卵^{たまご}抱^だいてて大きくなるらしい」

「卵あったよ」

「え、ほんと！？よし、今度^{こんど}おじさんも注^{ちゅうい}意^いしてみてもよ」

受^うけとりあ^あって出^で会^{かい}いを共^{きょうゆう}有^{ゆう}する時^じ間^{かん}です。

このあと、氷^{ひょうけつ}穴^{けつ}、樹^{じゅ}海^{かい}、滝^{たき}、清^{せい}流^{りゅう}と探検は続^{つづ}き、3日間
で富士山^{ふじさん}を一^{いっしゅう}周^{しゅう}しました。

本物との出会いから、本物の問いが生まれます。



心から出で、願わくば再び、心へと至らんことを

(ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン)